

令和3年度の広告事業について

1. はじめに

- ・「大阪市広告事業プロジェクトチーム」を設置し、媒体別の目標額を設定のうえ、全庁的に広告事業の取組を推進した結果、広告事業効果額は5億円を超え、政令指定都市の中でもトップクラスの水準となった。
- ・令和3年度も、政令指定都市トップクラスの水準を維持するため、引き続き目標効果額5億円程度の確保をめざし、媒体種別に目標額を設定し、引き続き全庁的な取組を推進していく。
- ・なお、新型コロナウイルス感染症拡大による広告収入への影響は長期化が想定されるが、現時点で影響額を的確に見込むことは困難であるため、目標額には未反映となっている。

2. 目標額について

令和3年度目標額：536百万円

《目標設定の前提》

- ・目標設定にあたっては、媒体種別ごとの過去実績を踏まえ設定している。
- ・大規模施設の改修工事の影響による減収及び工事完了に伴う増収を見込む。

《媒体種別別の目標設定の考え方》

ネーミングライツ、施設を活用した広告

新型コロナウイルス感染症の影響による広告収入の減少が懸念されるが、

- ・更新時期を迎える契約については、広告価値の減が見込まれるが、契約手法の見直しや顧客満足度向上に向けた取組を行うなど、引き続き効果額を確保できるよう取り組む。
- ・現在募集中(予定含む)の媒体は新たな広告主の獲得をめざす。

デジタルサイネージ（ディスプレイ）広告

令和2年度目標額を据え置き、導入数増に取り組む。

ホームページバナー、広報紙、封筒、印刷物、公用車

令和2年度実績見込額程度の効果額を確保できるよう取り組む。

≪媒体種別の内訳≫

(単位：百万円)

媒体種別		R3目標 (A)	R2目標 (B)	対R2目標 A - B	≪参考≫ R1実績
(1) ネーミングライツ		204	185	19	182
(2) 施設を活用した広告		136	186	▲ 50	254
(3) その他の媒体		196	195	1	198
	ホームページバナー	12	12	0	12
	広報紙	39	37	2	41
	封筒	9	6	3	9
	パンフレット等印刷物	57	59	▲ 2	58
	公用車	1	1	0	0
	デジタルサイネージ (ディスプレイ) 広告	65	65	0	63
	その他	13	15	▲ 2	15
合 計		536	566	▲ 30	634